

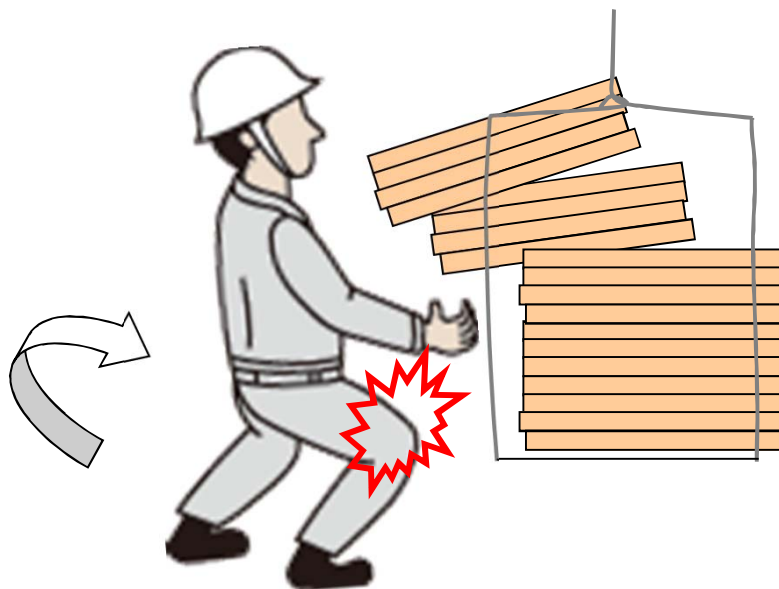
## 『荷崩れから逃れようと体を捻り、膝を損傷』

発 生 年 月	平成 年 7 月
時 刻	13:30 頃
被 災 者	型枠工(45歳)
傷 病 名 等	左ひざ内側 側副じん帯損傷 (休業2日)

- ◎ 発生状況 ・被災者は屋上でタワークレーンを使用して、型枠材の荷受作業に従事していた。13:10頃、吊荷を降ろしたが、下部のコンパネにワイヤが食い込んだため、屈んでワイヤを外そうとしたとき上部のコンパネが崩れ、身体に被さってきたので避けようと体を捻ったとき、左ひざを損傷した。

その後、痛みはあったが作業を続け、定時終了後帰宅したが痛みが酷くなってきたため、夜間救急病院に出向くが医師不在のため、救急車にて〇〇日赤病院へ搬送され、応急措置として左ひざの腫れている部位から血と水を抜き、帰宅した。市内に専門医が不在のため、市外の病院へ通院することになった。医師の診断結果は、全治2ヶ月、安静療養、入院の必要は無いとのことであった。

## ◎ 被災状況



## ◎ コメント

- ・屈んだ状態でワイヤを外そうとし、意識が吊荷下部に集中していたこと。
- ・一人作業であったこと。